

## 4月14日：ベトナム株は金曜日に下落

ベトナム株は週末に下落した。不動産株を中心に突然売り圧力が高まった。

ホーチミン取引所のVN指数は3日続落、1.07%安の1,052.89ポイントで取引を終えた。週間では1.5%安となった。

ハノイ取引所のHNX指数は1.23%安の207.25ポイントで取引を終えた。

両市場合わせて423銘柄が下落、152銘柄のみの上昇だった。

銀行セクターが安い、テクコムバンク（TCB）は4.3%安、BIDV（BID）、ベティンバンク（CTG）、軍隊商銀（MBB）などは1%以上の下落だった。

セクター別では、ゴムセクターが最も下落した。ダナンラバー（DRC）は4%安、サオバンラバー（SRC）が4.5%安、サウザンラバー（CSM）が1.4%安だった。

不動産セクターも下げを主導した。キンバックシティ（MBC）、ベカメックス（IJC）、ダットサイングループ（DXG）、DIGグループ（DIG）などが下落していた。

相場は下落したが、流動性は改善した。両市場合わせて出来高は8.99億株、売買代金は14.9兆ドンだった。前日に比べてそれぞれ18%、17%増だった。

ロンベト証券によると、1,060ポイントは下値のめどであり、そのあたりでは資金の流入が見られる。

今後の相場の方向性のシグナルが出るまで、調整が続くだろうと同社は予想した。

投資家には需給を良く見極め、買いすぎは控えるように忠告した。短期的には上昇時に利益確定をし、ポートフォリオのリスクを調整するようにと勧めた。

外国人投資家は売り越しを続けている。2,320億ドンを売り越した。

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。